

# 第127回近畿救急医学研究会 メディカルスタッフ部会 教育講演

救急医療におけるコミュニケーションはどうすれば上手くできるのか。  
～医師・看護師・メディカルスタッフ等のチーム医療の実現に向けて～

## 【基調講演】

座長

大阪大学医学部附属病院 医療技術部 放射線部門 東 文雄 先生

行岡医療大学 医療学部 理学療法学科 幸田 利敬 先生

演者

『救急医療へのコミュニケーションの心理学の活用』

神戸女学院大学 人間科学部 心理・行動科学科 木村 昌紀 先生

## 【パネルディスカッション】

救急医療の多職種連携において各職種が果たす役割

演者

【診療放射線技師】

『話すだけじゃない！診療放射線技師ができる救急医療現場でのコミュニケーション』

神戸赤十字病院 放射線科部 上江 孝典 先生

【臨床検査技師】

『救急医療の現場に検査技師は必要？現場参入時から心がけたコミュニケーション』

大阪赤十字病院 臨床検査科部 田中 瑞穂 先生

【理学療法士】

『効果的な早期離床の実現に必要な多職種でのコミュニケーション』

大阪急性期・総合医療センター 医療技術部セラピ部門 高尾 弘志 先生

【臨床工学技士】

『臨床工学技士が考える多職種コミュニケーション～臨床工学技士経験年数によって考え方は異なるのか～』

北播磨総合医療センター 臨床工学室 小松 義輝 先生

【医療ソーシャルワーカー】

『医療チームの一員としての協働』

大阪医科薬科大学三島南病院 医療ソーシャルワーカー 北角 洋子 先生

【薬剤師】

『救急医療における薬剤師の果たす役割』

大阪公立大学医学部附属病院 薬剤部 齋藤 有華 先生

